

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

記

演題：大臼歯における抜歯即時埋入の優位性と併用処置

講師：名取歯科医院
名取 徹 院長

日時：2026年6月5日（金） 17：30－19：00

場所：7号館2階歯学科講義室2

内容：

抜歯即時埋入は、1976年に報告されて以降、併用処置に対する組織学的検証や予後のデータが蓄積され、現在では、特に単根である前歯部において外科的・補綴的優位性が高い術式として認知されている。一方、大臼歯部における即時埋入は、Atiehらが歯根径とインプラント径の差に由来するインプラントの初期固定不足や、歯槽中隔の存在に起因するインプラント受容床形成時の問題点があることを報告しており、その臨床応用にまだまだ躊躇する術者も多い。そこで本日は大臼歯部における即時埋入について文献的考察に加え、埋入後の骨形態の変化を評価することによる臨床的考察から、その優位性と現時点で最適と考えられる術式について解説する。

連絡先：口腔再生再建学分野 福場駿介

内線：84816

メールアドレス：sfukuba.peri@tmd.ac.jp